

2025.12.17 今年度大テーマ《食に興味を持とう》

今回のテーマ：魚を知ろう！（見る、触ることで関心を持つ）

【活動内容】

- ① 子どもたちに魚の本を見せて、事前にいろいろな魚がいることを知ってもらう。
- ② 袋に入れた魚を観察し触ってみる。（口の中を覗いてみる）
- ③ 魚を三枚おろしにして、身と骨を見て触ってみる。（焼いた魚と生の魚の感触の違いを知る）
- ④ 事前に焼いて骨のみにした魚を見て触ってみる。
- ⑤ 給食で「魚の香味焼き」にして提供する。



おさかな切ってるね！
「すごーい」
パチパチ♪



わっ！
口の中！

【活動中の子どもの姿・子ども同士や保育者との関わり】

- ・魚の目をツンツンと触っていた。
- ・魚から血が出ているところを見て「お魚いたいいたいだね」と心配そうに言う子もいた。
- ・生の魚と焼いた魚を見比べ、「目の色が違うね」など、色の違いに気づいた。
- ・丸ごとの魚を見るのが初めての子も多く、興味津々で口の中を覗き込んでいた。
- ・骨を触って、「絵本とおなじ」という2歳児もいた。
- ・0歳児クラスも興味津々でビニール袋の上から触っていた。
- ・野菜の時は触らない子も魚は指でちょんちょんと触っていた。

【振り返り・振り返りによって得た先生の気づき】

- ・0歳児がいつもより興味を示していた。
- ・1.2歳児は「血が出てる、かわいそう…」ということに気づいた。命をいただくことのありがたみ、食べることに感謝の気持ちを持つきっかけになった。
- ・「色」「形」「かたさ」「におい」など五感を使って感じることができた。
- ・回を重ねるごとに、子どもたちがすくなく活動を楽しみにして、家庭で話をすることも増えてきた。



これ、なんだ?
さかな?



「なにかな～?」
「チョンチョン」
「さわれたらよ!」



ほねだ～!
かたいね…

こっちとこっちは
色がちがうね…

